

令和3年度 学校評価一覧シート

愛知県立半田工科高等学校

| 項目担当 | 本年度の重点目標 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の能力の向上を図る。 開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信をより高め生徒募集に繋げる。 自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。 | |
|-------|--|---|--|
| | 重点目標 | 具体的方策 | 留意事項 |
| 総務部 | <ul style="list-style-type: none"> 学校と家庭の連携を深める。 式典行事の円滑な運営を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> P T A委員会の活性化を図る。 e-メッセージを積極的に活用する。 職員間の協力体制を整え、式典行事に取り組む。 生徒の相互理解の場として活用する。 | <ul style="list-style-type: none"> 専門委員会の自主的・積極的な活動をさらに促す。 e-メッセージにより、保護者への連絡を行う。 生徒が規律ある態度で積極的に式典行事に臨めるよう支援する。 |
| 教務部 | <ul style="list-style-type: none"> 各教科の学力を向上させる。 広報活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高める。 授業を大切にすること。 (授業規律、成績不振者指導等) 中学校の進路説明会や、地域交流を通じ本校の様子について伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業改善に努め、学力向上を図る。 成績不振者に対し継続的な指導を行う。 生徒個々の学力に合わせ、適切な指導計画を立てる。 分掌・学年会等、関係各所と連携し実施する。 |
| 生徒指導部 | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶、身だしなみを整える等、生徒自ら主体的に考えて行動できるようにする。 安全・安心な学校生活の実現。 いじめの未然防止、早期発見、適切な対処。 薬物乱用防止に向けての啓発活動。 | <ul style="list-style-type: none"> 校門指導で挨拶の励行も行い、身だしなみ指導も年間8回実施するが、生徒自ら行動に移せるように働きかける。 講話の実施や、全体、HR単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止減少に努める。 生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見につなげる。 情報を職員間で共有し、いじめ防止対策委員会が中心となり全職員で組織的に対応する。 薬物についての危険性を周知する。 | <ul style="list-style-type: none"> 担任・職員・保護者と連携し、生徒と保護者に理解を得る。 命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止減少に努める。 全校集会やHRにおいて、いじめは許されない行為であると生徒に理解させる。 講話やリーフレットなどを通し、薬物乱用を未然に防ぐ。 |
| 進路指導部 | <ul style="list-style-type: none"> 進路意識の高揚を図る。 自分に合った進路選択をさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸長できるように援助する。 勤労観・職業観を育成するため、進路への知見を広めさせる情報提供をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 自らの意志と責任で進路を選択決定できるようにする。 自己理解を深めさせ、長期的な展望を持って選択できるようにする。 |
| 保健厚生部 | <ul style="list-style-type: none"> 健康への意識を高め、感染症予防にも努め、心身ともに健康的な学校生活を送れるようにする。 学校生活における不安や悩みの早期発見、解決に努める。 日常の清掃に積極的に取り組み、安心安全な学校環境を保つ。 | <ul style="list-style-type: none"> 健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を高める。 こまめな換気、手洗石鹸の補充をし、感染症予防に努める。 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、担任、相談係と連携し、教育相談体制の充実をはかり、情報を共有し問題解決に取り組む。 清掃を毎日全員で実施し、ごみの分別、環境美化、校内整備に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 朝の健康観察を通じて健康意識向上を図る。 感染症防止対策に関する情報を収集し対応する。 教育相談委員会、相談係を通じて協力体制をつくり生徒情報の共有と対応を図る。 生徒厚生委員によるゴミの分別作業を行う。清掃を日常的なものとして取り組む。 |
| 図書情報部 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用し易い図書館を目指す。 個人情報の漏洩防止及び情報セキュリティの強化を図る。 ホームページの内容を充実させ、本校の魅力を地域に発信する。 「KO-KA-Times」(昨年度までの「KO-GYO-Times」)「半工Girl's」の発行を通じて、本校の魅力をアピールする。 | <ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い、図書館利用を呼びかける。 セキュリティの向上を行う。 令和4年度より新学科が始まるため、新学科のWebページを開設する。 中学校の教員や生徒および保護者、企業関係者に積極的にPRする。 | <ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」の内容を充実させ、生徒の興味・関心を引き、利用しやすい環境を整える。 生徒用タブレットやBYOD回線が始動したため、情報モラルなどの啓発を訴える必要がある。 新学科と現2、3年生の学科のページを残すのかが検討する必要がある。 「KO-KA-Times」や昨年度創刊した「半工Girl's」を地元の中学校の教員や生徒および保護者だけでなく、企業関係者にも配布する。 |

| | 重点目標 | 具体的方策 | 留意事項 |
|-------------------|---|---|--|
| 生徒会部 | <ul style="list-style-type: none"> 学校行事の充実を図る。 ボランティア活動への積極的参加を促す。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。 半田工科高等学校に適した学校行事を検討する。 ボランティア活動への参加を全校に呼びかけるとともに、地域への貢献ができるよう活動を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒議会、各委員会の活動を活発化させ、各クラスとの連携を進めて、全校生徒が何らかの行事に参加や協力ができるようにしていく。 地域との連携を図り、ボランティア活動をすすめていく。 ボランティアの掲示板を設置する。 |
| 工務部 | <ul style="list-style-type: none"> 資格取得に取り組むことで、自ら学ぶ力をつけ、チャレンジ精神を育て、生徒個々の能力向上を図る。 積極的に地域イベントに参加して、開かれた学校づくりを推進し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 資格の情報を正確に素早く提供する。提供する方法としてホームページを活用する。 地域連携授業や地域イベントに積極的に参加し、本校の魅力を発信する。 | <ul style="list-style-type: none"> ホームページにある工務の情報更新をタイムリーに行う。 各工業科と連携を取り、的確な情報を発信していく。 |
| 電子機械科・ロボット工学科・機械科 | <ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の理解に努め、実習や製図などのものづくりの経験をとおして、学習に対する姿勢を育む。また、「安全への意識」、「5S」や「報連相」など工業人としての姿勢や考え方を伝え、理解し実践できるように育成する。 新しい学科への学習内容の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 各教科科目に対ししっかり理解させる。特に実習製図など作業を伴う授業では、体験を通して意欲を高める。 資格・検定に対して計画的に取り組ませる。 外部企業との連携を深めることでキャリア教育の推進を図る。 地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。 新しい実習の教育効果があがるように、設備、指導書、実習展開等を検討し、改善する。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業を大切にする。 課題、レポート等提出物に対し、期限を守りしっかり取り組ませる。 進路に対する活動に積極的に取り組み、興味関心を高め、目標を持たせる。 学習も進路選択も生徒自ら意欲的に取り組めるように指導する。 学校での多様な活動を通して、コミュニケーション能力の向上を促す。 1年生は他科と連携し、共通理解のもと取り組む。 |
| 電気科 | <ul style="list-style-type: none"> 電気への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。 生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> 日頃の授業や資格取得のための補習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。 レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。 学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他人と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。 ボランティア活動内容や各種競技大会の結果など、生徒の活躍を学校ホームページを通じて情報発信する。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の能力や活動状況を把握し、難易度の高い資格にチャレンジさせるなど適切な目標をもって取り組ませる。 朝や帰り、授業への移動など、機会があるごとに声かけし、正しい言葉遣いやコミュニケーション能力の向上を促す。 自己表現のできる場にたくさんの生徒が参加できるように、多くの生徒に声かけをする。 ホームページに掲載する内容について定期的にしっかり確認する。 |
| 建築科・建築デザイン科 | <ul style="list-style-type: none"> 「衣・食・住」という私たちの生活の根幹をなす建築学と、デザインを学ぶことの大切さと楽しさを伝える。 専門教科の基礎的能力を向上させ、社会とのつながりを伝え、応用力を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒には、建築は私たちの生活を守り、優れたデザインは生活を豊かにしていることが伝わるような言葉や記事、映像を授業の中に取り入れる。 中学生や保護者には、体験入学やホームページをとおして建築デザイン科で学ぶことの大切さと楽しさが伝わるよう発信する。 製図は、手描きの技法を指導し、その発展形としてCADを指導する。 木構造は、手刻みの木材加工の技法を指導し、発展形としてプレカットや2×4があることを指導する。 | <ul style="list-style-type: none"> 特に1年生は建築デザイン科になったので、これまでの指導内容に加えてデザイン的な内容を取り入れ、学ぶ楽しさ、作る楽しさを感じられるようにする。 新しい・古いではなく、基礎基本を教える。そのうえで、ニュース等に気を配り、災害に強い工法や新しい技術などを積極的に紹介する。 |
| 土木科・都市工学科 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の向上を図り、社会に必要とされる知識・教養の習得を目指す。 細かな生活指導を大切にし、基本的な生活習慣を育む。 地域社会との繋がりを考え、学外への情報発信もできるよう努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容を基本とし、さらに就業後必要となる国家資格試験の内容も教科指導に取り入れる。資格の重要性を生徒へ伝えることにより、学習意欲を向上させる。 日頃より、礼儀、けじめについて、しっかりと指導をする。特に、正しい言葉使いを伝え、社会人としての心構えを身につけさせる。 地元企業との繋がりを大切にし、外部講師という形で出前授業等を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導ができるよう、授業を展開する。 職員間での情報交換を大切にし、一方的な指導にならないようにする。 授業の一環として出前授業を実施するため、建設業に関する内容を紹介できるようにする。 |

| | 重点目標 | 具体的方策 | 留意事項 |
|-------|--|---|--|
| 1年学年会 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態を把握しながら規律を身につけさせる。 資格取得の励行。 学科選択の適正化。 | <ul style="list-style-type: none"> クラスの活動における声かけや、コミュニケーションを取りやすい関係を作りながら指導する。 授業や補習を通して自学自習のできるように指導する。 実習・座学を通して工業教育へ興味関心を高め、個々の能力にあった学科選択を指導する。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒との信頼関係を構築する。 教材の準備や授業計画を綿密に行う。 生徒の希望と適正からミスマッチが起きないようにする。 |
| 2年学年会 | <ul style="list-style-type: none"> 自ら考え、主体的に行動する力を身につけさせる。 進路に対する意識の高揚を図り、具体的な目標を明確化させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学年会や関係分掌との連携を図り、学校生活のあらゆる場面できめ細かい指導をする。またその際、生徒に指示するだけでなく、疑問を投げかけ、自分のやるべきことをイメージさせることによって自ら考える力を養う。 HRやLT活動などを活用して、自己分析の支援や自己発見の援助をする。また、進路指導部と連携を図り、ガイダンスを充実させ、職業や学問に対する理解を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分で考え、自分の言葉で伝えることの訓練を生徒とのコミュニケーションを密にして指導していく。生徒個々の能力に応じた指導を心掛け、家庭との連携を密に行う。 進路指導部や各学科と連携し、個々に適した進路情報の提供を積極的に行う。 |
| 3年学年会 | <ul style="list-style-type: none"> 個人の能力や適性を十分に把握し、生徒に適した進路選択ができるように指導する。 社会人としてのモラルやマナーをしっかりと身につけさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> HRやLT活動、個人面談を通して、生徒の進路希望について十分に理解する。また、引き続き進路指導部と連携をはかり、職業講話の充実や企業展への参加を積極的に促す。 日常生活に対する指導を通して、社会人として必要なモラルやマナーを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 進路に関する情報を確実に伝え、生徒と保護者が進路について十分な話し合いができるようにする。また、自分自身で進路決定ができるように個に応じたきめ細かな指導を心がける。 社会人になることを意識させ、言葉遣いや挨拶、身だしなみなどについての大切さを理解できるように、日頃から指導する。 |
| | 学校関係者評価を実施する主な評価項目 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立について 学校行事、部活動の充実・発展について 資格取得の推進について 学校いじめ防止基本方針に基づく取組について 在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努めることについて | |